

2021 技術職員研修会「幾何公差方式図面と三次元測定器教材の紹介」

報告者	木村慧	報告日時	令和3年4月5日(月)
実施場所	Teamsによるオンライン開催	実施日時	令和3年3月25日(木), 26日(金)
参加職員	3名(石田, 樋口, 木村)		

・報告

全国高専クリエイティブ支援チームにて沼津高専主催で行われた、2021 技術職員研修会「幾何公差方式図面と三次元測定器教材の紹介」に参加しました。

Teams を使ったオンラインで開催され、3月25日に沼津高専の方による「幾何公差図面と三次元測定器を用いた実習」の実演中継、翌26日に長野高専の方による特別講演がおこなわれました。

両日とも、幾何公差についての理解を深められる大変有意義な研修会でした。また、研修会終了後の26日午後から1時間ほどのオンライン座談会でも活発な情報交換が行われ、こちらも大変参考になりました。今後の業務に活かしていきたいと思います。

・詳細

本研修会は、Teams の全国高専クリエイティブ支援チームで告知がありました。

25日は、職員などの4人を学生と見立ててノギスや三次元測定機を使用した模擬実習の見学を行いました。従来の図面やノギス測定では補完できない形状の説明を、実習の流れや学生の手間取り方も含めて体験することができました。個人的な感想になりますが、日常的に三次元測定機を使用している様子が見て取れ、本校実習工場の三次元測定機の使用頻度が極めて低いことがもったいなく感じられました。

26日の講演は、実際にアメリカで図面を学んでこられた先生から、現地で取り入れられている最大実体公差方式による図示の仕方や具体的な内容を自身の考えも含めてわかりやすく説明していただきました。特に講演の中で、JISの文中に現在日本で描かれている図面がこのままでは今後海外では通用しないと明記されているという内容については、今後指導する際にどのように行えばよいか考えさせられました。

また、今回の研修会で作られたチームは解散せず、幾何公差方式図面の相談窓口として継続していただけるとアナウンスがありました。実演と講演の配信の録画データも見返させていただきながら、今後図面について行き詰まった時に相談させていただきたいと思います。

研修会のスケジュールは下記の通り(敬称略)。

25日 沼津高専

13:10 研修会開始・開催挨拶

13:30~16:00 実習中継 「幾何公差図面と三次元測定器を用いた実習」

26日 長野高専

11:00~12:00 特別講演 「図面鎖国状態から開国を目指す サイズ公差・幾何公差教育」

13:15~14:00 オンライン座談会(各高専での図面や三次元測定器の実態など情報交換)